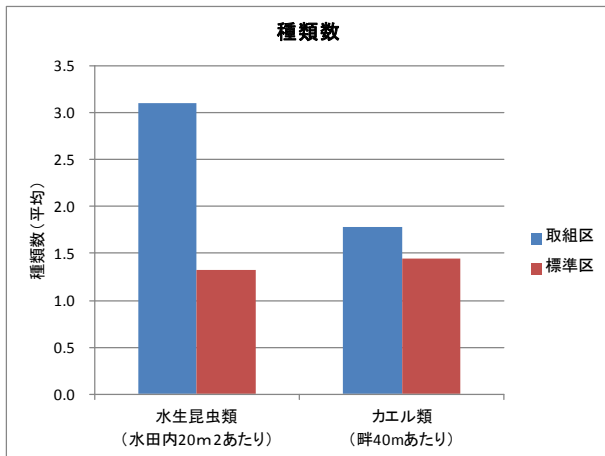


総合的病害虫・雑草管理（IPM）と組み合わせた魚毒性の低い 除草剤 1 回と畦畔機械除草 3 回以上

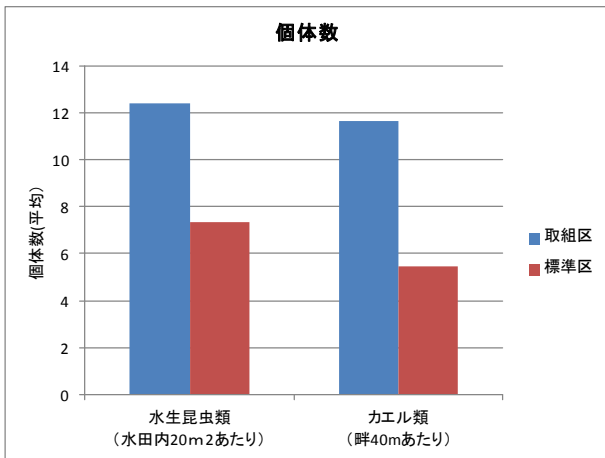
取組区と標準区の比較

調査地点数: 9地点	種類数		個体数		多様度指数※	
	取組区	標準区	取組区	標準区	取組区	標準区
水生昆虫類(水田内20m ² あたり)	3.1	1.3	12.4	7.3	1.09	0.39
カエル類(畔40mあたり)	1.8	1.4	11.7	5.4	0.59	0.38

※多様度指数は「種の豊富さ」と「個体数のばらつき」を評価したもので、**数値が大きいほど生き物が豊かでバランスが取れている**ことを意味する。



取組区の水田（池田町）



確認されたカエル類（アマガエル）

確認された水生昆虫類

種名	取組区	標準区
コカゲロウ属の一種	11	
シオカラトンボ	1	3
ナツアカネ	1	
アキアカネ	13	1
ヒメアメンボ	35	51
コミズムシ	35	4
タイコウチ	2	2
マツモムシ	5	
ガガンボ科の一種	4	
コシマゲンゴロウ		1
ツブゲンゴロウ	1	
ヒメゲンゴロウ	2	
ゲンゴロウ科の一種	2	
キベリヒラタガムシ		1
マメガムシ		3
個体数計	112	66
種数計	12	8

総合的病害虫・雑草管理（IPM）と組み合わせた魚毒性の低い除草剤 1 回と畦畔機械除草 3 回以上の取組区分について、取組区と標準区を比較すると、水生昆虫類、カエル類ともに種類数及び個体数について、取組区のほうが多くなる傾向が認められた

多様度指数は水生昆虫類、カエル類ともに取組区のほうが高くなる結果となった。